

## 第六回

—シンポジウム—

# 沖縄と戦後70年

■日時 2015年12月26日(土) 14時~17時30分

■会場 立教大学 池袋キャンパス 5号館 5122教室

東京都豊島区西池袋 3-34-1

(JR各線・東武東上線・西武池袋線・東京メトロ丸ノ内線/有楽町線/副都心線「池袋駅」下車。西口より徒歩約7分)

連続研究会の第6回は「沖縄と戦後70年」をテーマにシンポジウムを開催します。基調講演として、日米関係に携わってこられた、猿田佐世・弁護士(新外交イニシアティブ事務局長)に「沖縄基地と日米関係の実像」を語っていただきます。

続くパネルディスカッションでは、「沖縄を伝える」と題して、地元メディアのお二人と今年「沖縄 うりずんの雨」を公開したジャン・ユンカーマン監督に戦後70年の今、考えるべきことを提示していただきます。

## ■基調講演 「沖縄基地と日米関係の実像」

猿田佐世 (弁護士/新外交イニシアティブ事務局長)

## ■パネルディスカッション 「沖縄を伝える」

松元 剛 (琉球新報 編集局次長兼報道本部長)

島袋夏子 (琉球朝日放送 記者)

ジャン・ユンカーマン  
(ドキュメンタリー映画監督)

コーディネーター 砂川浩慶  
(メディア総研所長/立教大学准教授)

## ■資料費:500円

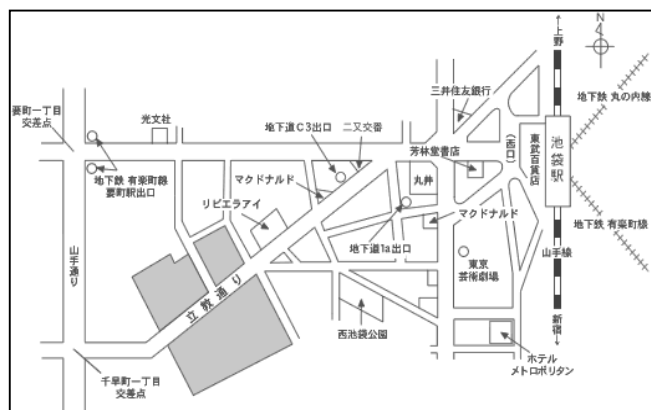
(学生・メディア総研維持会員は無料)

## ■申し込み・問い合わせ

メディア総合研究所 mail@mediasoken.org  
立教大学・砂川ゼミ sunakawa@rikkyo.ac.jp

## ■主催:立教大学・砂川ゼミ メディア総合研究所

〒160-0008 東京都新宿区三栄町17 木原ビル  
TEL:03-3226-0621 FAX:03-3226-0684



## 登壇者プロフィール

### ●猿田佐世（さるた さよ）

新外交イニシアティブ（ND）事務局長／弁護士（日本・米国ニューヨーク州）

自らワシントンにてロビーイングを行う他、日本の国会議員等の訪米行動を企画・実施。二度の稲嶺進名護市長の訪米行動、そして今年6月には翁長雄志沖縄県知事に随行する沖縄訪米団の企画同行を担当。米議員・米政府面談設定の他、米シンクタンクでのシンポジウム、米国連邦議会における院内集会等を開催。専門・研究テーマは日米外交・日米外交システム論。

### ●松元 剛（まつもと つよし）

琉球新報編集局次長兼報道本部長、論説委員

1965年11月、那覇市生まれ。89年琉球新報社入社。2度の政経部・基地担当、編集委員として通算9年間、基地問題を追う。

2002年の連載企画「軍事基地と住民」で新聞労連ジャーナリスト賞大賞、単行本『ルポ 軍事基地と闘う住民たち—海外・国内の現場から』（琉球新報社編、NHK出版）で平和協同ジャーナリスト基金賞奨励賞、2004年の日米地位協定改定キャンペーン「不平等の源流」取材班（サブキャップ）で、日本ジャーナリスト会議（JCJ）賞大賞、石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞などを受賞。雑誌『世界』で、コラム「沖縄（しま）という窓」を連載中。共著多数。

### ●島袋夏子（しまぶくろ なつこ）

琉球朝日放送報道制作部 2007年入社。サブデスク、県政キャップ。

『裂かれる海～辺野古 動き出した基地建設～』でギャラクシー賞テレビ部門大賞、『枯れ葉剤を浴びた島～ベトナムと沖縄 元米軍人の証言』で日本民間放送連盟賞テレビ報道部門優秀賞。

### ●ジャン・ユンカーマン

ドキュメンタリー映画監督

1952年、米国ミルウォーキー生まれ。画家の丸木位里・俊夫妻を取材した『劫火—ヒロシマからの旅—』（1988年）は米国アカデミー賞記録映画部門ノミネート。9.11のテロ後にノーム・チョムスキーにインタビューした『チョムスキー9.11』（2002年）は世界十数カ国語に翻訳され、各国で劇場公開された。他に、与那国のカジキ捕りの老漁師を描いた『老人と海』（1990年）、エミー賞受賞作『夢窓～庭との語り』（1992年）、『映画 日本国憲法』（2005）など。今年『沖縄 うりずんの雨』が公開された。

### ●砂川浩慶（すなかわ ひろよし）

立教大学准教授／メディア総研所長

1963年沖縄・宮古島生まれ。1986年早稲田大学卒業後、民放連（日本民間放送連盟）で、放送制度、著作権、機関紙記者、地上デジタル放送などを担当。2006年から立教大学社会学部メディア社会学科准教授。研究テーマは、放送制度・産業論、ジャーナリズムなど。主な著書に『放送法を読みとく』など